



農村地域の花いっぱい運動について



(コスモス栽培マニュアル)

平成 30 年の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会に向けて、多くの
方々の目にとまる道路沿いの畦畔や休耕田を栽培しやすく丈夫なコスモス*で彩
りましょう！

※コスモスは国体・障スポの花「はびねすフラワー」の一つです。

○場所の選定

水はけが良く、肥料分が少ない場所が良い。

○花の種類



コスモスセンセーション 混合（色が混色）

コスモスの中で最もポピュラーな種類。

花は約 8cm と巨大輪。

草丈約 1m をこす高さで咲く、早咲きタイプ。

タネまき後 60～90 日で開花する。

日当たりが良く、水はけの良いやせ地を好む。

○花種について



種の購入先：JA など

種の単価：3,000～5,000 円/L

○播種量の目安

- ・ばら播き（手播きや、動力散布機で播種）：2～4 L/10a(1 反)
【メリット】すじを作る必要がないので、種まきが楽。
【デメリット】種が多く必要。播きムラがでる。
- ・すじ播き（手播きや、播種機で播種）：1～2 L/10a(1 反)
【メリット】ばら播きよりも種が少なくすむ。
【デメリット】すじを作る必要がある。

○コスモス栽培スケジュール（開花盛期：9月下旬～10月上旬）

時 期	6月 ～ 7月上旬	7月中旬 ～ 8月下旬	9月上旬 ～ 10月中旬	11月中旬 ～ 11月下旬
内 容	①耕起・除草 ②播種	③除草等の管理	④開花 《見頃》	⑤採種・ すき込み

①耕起・除草

- ・トラクターロータリーや耕運機等で細かく耕起し、平らにならす。
※碎土が不十分な場合、生育が不揃いになる可能性あり。
- ・耕起前の草刈り等により、播種後の管理が楽になる。
- ・元肥は必要ない。
- ・排水対策として、圃場の場合は、圃場の周りに排水溝を設ける。また、幅60 cm～1m間隔で畝上げするか溝をつける。



トラクターロータリー等で耕起



鍬等で耕起

②播種

- ・耕起後、できるだけすぐに播種する。
- ・発芽には水分が必要なため、播種は降雨の前日に行う。
- ・手播きや動力散布機、播種機などで播く。
(筋播きの場合は30 cm間隔を目安とする。
溝の幅が狭い場合は、草刈り等のための管理歩道を作ると良い。)
- ・播種後3～4日で発芽が始まり、7～10日間で芽が揃う。
- ・発芽後、害虫が発生する場合、殺虫剤を散布すると良い。



ばら播き



すじ播き



③除草等の管理

- すじ間、苗際をロータリーカルチや草刈機等で除草する。
（除草が必要ない場合もある。）
- 除草剤は風でコスモスにかかる場合があるので、使用しない。
- 追肥はほとんど必要ない。茎葉が黄変した場合に軽く施肥する。
- 切り戻しは必要なし。

④開花

播種後60～90日で開花する。



播種後 1 週間



播種後約 60 日



播種後約 90 日

⑤採種*・すき込み

花が終わり、種が黒く熟してきたら、天気の良い日に刈り取り、採種を行う。
収穫した種は、ゴミと分け、室内で十分乾燥させ、冷蔵庫などで保存する。
刈り取った後は、プラウやロータリーですき込む。



採種（手刈りやコンバインなど）



ゴミと分別



室内で乾燥

※採種して、翌年度に播種することにより、経費の削減になる。

ただし、採取した種は、成熟や乾燥不良などによる発芽率低下や、花色が片寄る可能性がある。

⑥その他

美しいコスモスの開花に合わせて、地区のお祭や花摘みイベントなどを開催することにより、地域の活性化につながります。



花摘みイベントの様子

お問い合わせ先：福井県総合グリーンセンター

緑化・花づくり推進部

TEL 0776-67-0002

FAX 0776-67-0004